



## 平成30年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年3月9日

上場会社名 日本ビューホテル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6097 URL <https://www.viewhotels.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 由明  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 矢島 学 TEL 03-5828-4429 (代表)  
 四半期報告書提出予定日 平成30年3月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年4月期第3四半期の連結業績（平成29年5月1日～平成30年1月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年4月期第3四半期	16,270	6.0	633	△48.0	616	△48.9	271	—
29年4月期第3四半期	15,350	3.9	1,216	2.6	1,207	8.1	△1,610	—

(注) 包括利益 30年4月期第3四半期 277百万円 (—%) 29年4月期第3四半期 △1,597百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年4月期第3四半期	28.87	28.73
29年4月期第3四半期	△166.41	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年4月期第3四半期	30,340	12,519	41.3
29年4月期	23,135	12,575	54.4

(参考) 自己資本 30年4月期第3四半期 12,519百万円 29年4月期 12,575百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年4月期	—	0.00	—	22.00	22.00
30年4月期	—	0.00	—	—	—
30年4月期(予想)	—	—	—	22.00	22.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年4月期の連結業績予想（平成29年5月1日～平成30年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	9.0	750	△45.0	710	△45.6	240	—	25.49

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 平成30年4月期の業績予想の1株当たり当期純利益は、ストック・オプション行使分(35,600株)を含めた期中平均株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年4月期3Q	9,716,425株	29年4月期	9,680,825株
② 期末自己株式数	30年4月期3Q	297,600株	29年4月期	181,200株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年4月期3Q	9,412,206株	29年4月期3Q	9,678,974株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や堅調な雇用・所得情勢を背景に個人消費が底堅く推移し、緩やかな回復基調が続きました。一方、労働人口の減少や、米国の政策動向および東アジア地域の地政学的リスクによる世界経済の不確実性などにより、先行きの不透明な状況が続いております。

ホテル業界におきましては、新規ホテルの開業や民泊の広がりなどによって競争環境が激化しているものの、政府の観光立国推進に向けた政策を背景に訪日外国人は前年を上回って増加しており、宿泊需要は引き続き堅調に推移しました。

このような経営環境のもと、当社グループは、第2次中期経営計画に基づき、既存事業の長期持続的な成長と事業基盤の拡大のための取組みを進めております。当第3四半期連結累計期間では、平成29年5月に札幌ビューホテル大通公園を開業したほか、浅草ビューホテルの1階ロビーフロアの全面改装工事や機械設備の更新工事を実施いたしました。更に平成30年5月に新規開業予定の大阪ビューホテル本町の開業準備を進めるなど、長期持続的な成長サイクルの構築を図るための施策に取り組んでおります。なお、高崎ビューホテルは平成30年1月5日付けで株式会社グランビューに営業譲渡いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は16,270百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益はホテルの開業費用や大規模な設備投資費用を計上したことなどにより、633百万円（前年同期比48.0%減）、経常利益は原発事故による逸失利益の補償金56百万円を営業外収益に計上した一方で支払利息が増加したことなどにより、616百万円（前年同期比48.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は特別損失で設備投資に係る固定資産除却損262百万円を計上したことなどにより、271百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,610百万円）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

セグメントの 名称	売上高			セグメント利益（営業利益）			減価償却前営業利益(*)		
	前第3四 半期連結 累計期間 (百万円)	当第3四 半期連結 累計期間 (百万円)	前年 同期比 増減額 (百万円)	前第3四 半期連結 累計期間 (百万円)	当第3四 半期連結 累計期間 (百万円)	前年 同期比 増減額 (百万円)	前第3四 半期連結 累計期間 (百万円)	当第3四 半期連結 累計期間 (百万円)	前年 同期比 増減額 (百万円)
ホテル事業	12,907	13,926	1,018	1,116	529	△586	1,845	1,604	△240
施設運営事業	1,341	1,341	△0	32	34	1	49	51	1
遊園地事業	1,170	1,078	△92	60	62	2	137	140	2
合計	15,420	16,346	926	1,209	626	△582	2,032	1,795	△236
調整額	△69	△75	△6	7	6	△1	7	6	△1
連結数値	15,350	16,270	919	1,216	633	△583	2,040	1,802	△237

(\*) 減価償却前営業利益＝営業利益＋減価償却費

## ①ホテル事業

ホテル事業では、平成29年5月に開業した札幌ビューホテル大通公園が客室部門を中心に売上に寄与し、更なる収益性向上のため、レストランの集約と新設および客室61室の増室を行いました。旗艦ホテルの浅草ビューホテルでは、7月30日から11月末までの一部レストランの休業や8月20日から9月10日までの全館クローズ期間を設け、1階ロビーフロアの全面改装工事や受変電設備の更新工事などを行い、新たなレストラン、ラウンジ、フロントなどを設置したロビーフロアを12月1日に全面リニューアルオープンいたしました。

これらの結果、売上高は13,926百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益は529百万円（前年同期比52.5%減）となりました。

## ②施設運営事業

施設運営事業では、「ぎょうけい館」を中心にインターネットでの宿泊プランの充実を図ったことや、6月に行った「ホテルグリーンパール那須」の改装による集客効果などにより、客室部門が堅調に推移いたしました。また、一部レストランの営業時間の見直しを行うなど業務の効率化と経費低減を図りました。

これらの結果、売上高は1,341百万円（前年同期比0.0%減）、営業利益は34百万円（前年同期比4.5%増）となりました。

## ③遊園地事業

那須りんどう湖 LAKE VIEWでは、7月から秋にかけての天候不順や10月から行っている浚渫工事による湖の水抜き作業の影響が大きく、集客に苦戦いたしました。前連結会計年度の平成28年7月にオープンした「那須の恵み Me k k e! ブッフェ&マルシェ」も天候不順が集客に大きく影響いたしました。そういった状況の中、一部施設の営業時間を見直すなど業務の効率化と経費低減を図りました。

これらの結果、売上高は1,078百万円（前年同期比7.9%減）、営業利益は62百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産

当第3四半期連結会計期間末における資産の合計は、30,340百万円（前連結会計年度末23,135百万円）と、7,205百万円増加いたしました。

うち流動資産は、4,662百万円（同5,005百万円）と、342百万円減少いたしました。これは、主に現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は、25,677百万円（同18,129百万円）と、7,548百万円増加いたしました。これは、主に浅草ビューホテルの1階改装工事による建物等の増加並びに札幌ビューホテル大通公園の賃貸借契約によるリース資産の増加および客室改装工事による建物等の増加によるものであります。

## ②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債の合計は、17,821百万円（前連結会計年度末10,559百万円）と、7,261百万円増加いたしました。

うち流動負債は、3,885百万円（同4,386百万円）と、500百万円減少いたしました。これは、主に1年以内返済予定の借入金の増加があったものの買掛金および未払法人税等の減少によるものであります。

固定負債は、13,935百万円（同6,173百万円）と、7,762百万円増加いたしました。これは、主に札幌ビューホテル大通公園の賃貸借契約によるリース債務の増加および長期借入金の増加によるものであります。

## ③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の合計は、12,519百万円（前連結会計年度末12,575百万円）と、56百万円減少いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金の増加があったものの、剰余金の配当の支払いおよび自己株式の取得によって減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は、41.3%（前連結会計年度末比13.1ポイント減）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成29年12月8日の「業績予想との差異および業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,221	2,442
売掛金	854	801
貯蔵品	201	191
繰延税金資産	200	222
未収還付法人税等	—	168
その他	527	837
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	5,005	4,662
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,123	12,985
機械装置及び運搬具(純額)	227	273
工具、器具及び備品(純額)	433	522
土地	5,613	5,611
建設仮勘定	392	301
リース資産(純額)	80	4,828
その他(純額)	0	0
有形固定資産合計	16,870	24,522
無形固定資産	44	48
投資その他の資産		
投資有価証券	43	59
長期貸付金	94	94
繰延税金資産	271	158
その他	902	893
貸倒引当金	△97	△98
投資その他の資産合計	1,214	1,107
固定資産合計	18,129	25,677
資産合計	23,135	30,340

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	985	272
1年内償還予定の社債	165	165
1年内返済予定の長期借入金	948	1,727
リース債務	48	324
未払金	1,204	925
未払法人税等	294	—
未払消費税等	160	61
賞与引当金	285	153
ポイント引当金	30	6
その他	263	248
流動負債合計	4,386	3,885
固定負債		
社債	253	170
長期借入金	5,055	8,092
リース債務	70	4,965
退職給付に係る負債	435	394
資産除去債務	47	43
長期未払金	171	138
その他	140	131
固定負債合計	6,173	13,935
負債合計	10,559	17,821
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,769	2,787
資本剰余金	1,689	1,707
利益剰余金	8,269	8,332
自己株式	△247	△408
株主資本合計	12,481	12,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	14
退職給付に係る調整累計額	90	85
その他の包括利益累計額合計	94	100
純資産合計	12,575	12,519
負債純資産合計	23,135	30,340

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成30年1月31日)
売上高	15,350	16,270
売上原価	3,773	3,825
売上総利益	11,576	12,444
販売費及び一般管理費	10,359	11,811
営業利益	1,216	633
営業外収益		
受取補償金	37	56
その他	76	55
営業外収益合計	113	112
営業外費用		
支払利息	61	109
株式公開費用	0	—
支払手数料	50	1
その他	11	18
営業外費用合計	123	129
経常利益	1,207	616
特別利益		
固定資産売却益	0	23
投資有価証券売却益	3	3
特別利益合計	3	27
特別損失		
固定資産除却損	68	262
減損損失	2,551	—
特別損失合計	2,619	262
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,408	381
法人税、住民税及び事業税	311	21
法人税等調整額	△108	88
法人税等合計	202	110
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,610	271
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,610	271



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成30年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,610	271
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	11
退職給付に係る調整額	9	△4
その他の包括利益合計	13	6
四半期包括利益	△1,597	277
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,597	277

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年1月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が160百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が408百万円となっております。

なお、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、平成29年7月24日をもって終了しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成28年5月1日 至 平成29年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ホテル	施設運営	遊園地	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,891	1,289	1,169	15,350	—	15,350
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	51	1	69	△69	—
計	12,907	1,341	1,170	15,420	△69	15,350
セグメント利益	1,116	32	60	1,209	7	1,216

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「ホテル事業」セグメントにおいて2,551百万円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成29年5月1日 至 平成30年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ホテル	施設運営	遊園地	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,905	1,286	1,077	16,270	—	16,270
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20	54	0	75	△75	—
計	13,926	1,341	1,078	16,346	△75	16,270
セグメント利益	529	34	62	626	6	633

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。